

V2H-充放電器の停電時操作方法 [リーフ22年6月～]

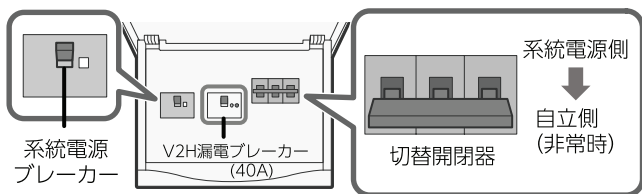
- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください。（デモ用に模擬停電させる場合のみ、系統電源ブレーカーをオフしてください）
- ※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

I. 給電開始の手順

CHECK

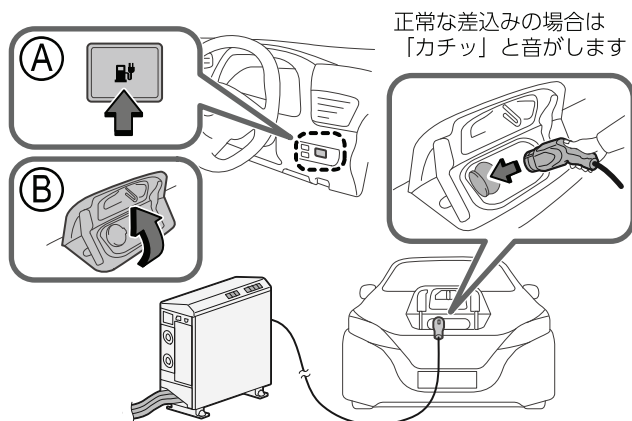
- ・車両の「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・パワースイッチがOFFになっていること

- 1 切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。



※本体の操作パネルに E29/E74/E100/E123 が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません（数秒で消えます）。

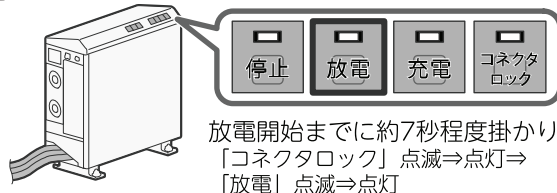
- 2 充電ポートリッドオープナースイッチ(A)を押して充電ポートリッド(B)を開け、「充放電コネクタ」を「急速充電インレット」に差し込む。



※停電前からコネクタを接続していた場合は、一度コネクタを抜いてから挿し直してください。

※手順3は右上へ

- 3 V2H本体の「放電ボタン」を押す。

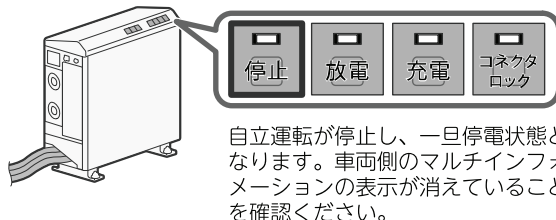


※コネクタ接続から5分以内に自立運転を開始できなかった場合は車両からの起動用給電が停止します。この場合、充放電コネクタを挿し直してから、再度放電ボタンを押してください。

- 4 準備が完了し**給電可能**となる。使用する電気設備の電源を入れてください。

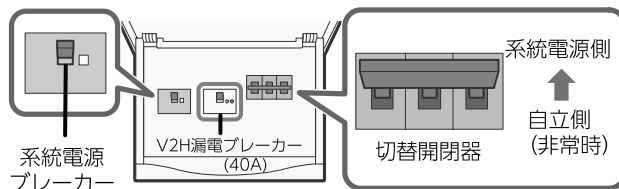
II. 停電終了（復電）時の手順

- 1 V2H本体の「停止ボタン」を押す。



※「復電時放電継続機能」設定をOFFにしている場合、復電後に運転が自動停止するため、この操作は不要です。

- 2 切替盤内の切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。



※模擬停電終了の際は系統電源ブレーカーを「ON」にする。

III. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、再度給電するために下記手順にて復旧準備を実施してください。

- 1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

- 2 急速充電インレットから「充放電コネクタ」を取り外し、再度挿し込む。

- 3 V2H本体の「放電ボタン」を押す。

- 4 **自立運転を再開します。**

※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。